

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスらしさ			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日 ～ 2024年 12月 27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日 ～ 2024年 12月 27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からお子さん状況を保護者方と伝え合い、発達状況や課題について共通理解を図っています。お子さんや保護者意思尊重、こども最善利益優先考慮観点を踏まえて、こどもや家族意向を確認する機会を意識的に設けて、そ上で個別支援計画を作成していることです。	個別支援計画を更新するごとに、利用児及びご家族生活に対する意向も確認をしています。利用児に学校で困りごとや頑張りたいと思っていることあるか要望聞き取りをしています。保護者方に、学校やご家庭等施設外で過ごしている時お子さまご様子についてヒアリングをしたり、ご要望を伺っている。	今後も利用児及びご家族要望や意向確認をしながら個別支援計画を作成していく。ニーズと課題を客観的に分析することについて改善が図れる部分もあると感じるため、改善できるように努める。
2	支援に関する打ち合せや振り返りを行い、スタッフ間で情報共有をし、チームで支援をしていることです。	そ日打ち合せや支援後振り返りどちらも毎日行っている。お子さん1人ひとりに対して振り返りを行い、細かなこともスタッフ間で共有するように意識している。	職員間で目的、目標、手段統一化について改善が図れる部分もあると感じるため、より良い支援ができるようにスタッフ間でも協議し改善できるよう努める。
3	請求業務専門の職員を配置することにより、その分指導員が現場業務に集中できています。	請求業務専門の職員と都度連携を取ることで、請求業務に対して指導員が極力時間を取られないように工夫している。	業務ソフトの導入を開始し、更なる業務効率を図ること、療育の時間に充てていくようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に開かれた事業所、地域と交流やつながりという点で改善が必要がある。	イベント等で地域お店を利用するなど地域交流過去にも数回ほど図っているが、一部公園や決まった場所利用みとなっている。	地域にある様々な公共施設やお店についても情報収集をしていく。今後も、地域に開かれた事業所運営ができるよう努めていく。
2	ご家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）やご家族が参加できる研修など情報提供を行っていない。	・家族支援プログラム体制整っておりません。そのため、個別に相談や助言等支援を行っている。	プログラムとしてペアレントトレーニング現在実施していないため、今後保護者ニーズを把握し必要に応じて検討する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		放課後等デイサービスらしさ				公表日	2025年 1月 15日	
		利用児童数				30		回収数 26
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	5	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1	0	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	0	1	2		階段の昇り降りの際には、必ず職員がつく、一人ずつ昇り降りを行なう等、安全管理を徹底するようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	0	1	1	・清潔感があり、十分なスペースがあると思います。 ・子供がいつも楽しみにしていて満足しています。ありがとうございます。今後よりしくお願い致します。	今後も、清潔で心地よく過ごせる環境を意識し、整備してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	0	1	3	本人が嫌がっているタイミングも、決して無理強いせず、話を聞いてくださり、本人を説得して療育に参加させてくださっています。子供が楽しんでいるので何よりです。	今後もひとりひとりの お子さまの気持ちや意思を尊重した療育を提供できるよう、それぞれの専門性を活かして意見交換を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	0	0	4		公表しているプログラムは、お子さまの自立と成長を促していけるようなプログラムとなっております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	2	1	支援は個に応じて他の事業所と比べてみても、とても細かく計画していただいていると感じます。	毎回のご利用の様子を職員間で振り返り、事業所外でのご様子を面談等でお伺いし、今後も職員で課題を分析しそれぞれのお子さまにあった支援ができるよう努めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	3		ガイドラインに沿ってより個々のニーズに合わせた支援内容を設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	4		お子さまの自立、成長を促していけるよう計画に沿った支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	6	0	4		・楽しみながら次の成長につながるよう、都度新しい活動を取り入れながら、それぞれの特性や関心・興味などに合わせてプログラムを工夫しています。 ・お子さまの課題に合わせて、活動に取り入れていけるように検討してまいります。
保 護	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	0	17	4	地域の他の子供と活動する機会は特に望んでいません。	今後、必要というお声がありましたら、検討させていただきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	2	1		契約時に丁寧に説明するとともに、運営規定等の書類は皆様が開覧出来るよう掲示しております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	2	0	定期的に長い時間詳しく説明していただいております。	定期面談でのお話や毎回支援終了後に保護者へフィードバックの時間を設けております。またそれぞれのお子様の達成具合に合わせ支援内容の説明をしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	17	1	ペアレントトレーニングの機会があれば是非参加したいです。	・必要に応じ支援後のフィードバック時に家庭での対応方法について助言などしています。 ・ご家族の状況やニーズに合わせて職員等とも話し合い、連携しながら必要なプログラムを提供できるよう努めていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	2	0	4	・先生間で、十分共有されて丁寧な対応がなされていると感じます。 ・いつも細かくみてくださって、気づいていたことは教えていただけています。	これからも毎回のフィードバック時、面談や連絡ツール等を通して、いつでも対応できるようにしていきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2	0	2		定期的に保護者と支援計画の面談を行い、必要な助言などをしております。その他必要に応じていつでも相談に乗れる体制を整えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	2	0	2		保護者やお子さまに寄り添いながら少しでもお力添え出来るよう努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	1	1	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	6	2	1		ご相談や申し入れがあった際には適切かつ迅速に対応できるよう職員間での共有や共通意識を持ち日々支援にあたっております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2	0	2		個室も設けており、必要に応じて1対1でお話を伺えるようにしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	5	3	1		毎年、ホームページで自己評価結果等発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	2	0	2		・個人情報の職員全員で厳重に扱っております。 ・個人情報が記載された書類等は鍵付きの棚に厳重に保管されています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	2	0	2		各マニュアルは、運営規定の書類と同様、皆様が閲覧できるよう掲示しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	3	0	2	・避難訓練など、きちんと行なっているように思います。 ・様々なケースの非常訓練もやっても良いかと思いました。	定期的に避難訓練を実施しております。今後様々なケース（地震・火災）を想定して訓練を行っていきたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1	1	2		日々の活動における注意点を安全計画にまとめて日々確認していますが、課外活動や自由遊びの際には、特に徹底してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	5	2	3		事故や怪我が起こらないよう、日々細心の注意を払い支援を行っております。事故や怪我にはならなくても危険な場面があった場合には丁寧に保護者にもご説明し、ヒヤリハットの資料作成、職員間での共有、再発防止に努めております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	1	1	0	いつも参加しやすいように工夫してくださっており、お陰様で行き渋りもなく継続的に利用できています。	今後も安心して通いたくなる場所を目指し一人ひとりのお子様と向き合っております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	0	0	0	いつもとても楽しみにしています。沢山褒めてもらえるので、自信が持てるようです。上手くできない時も粘り強く教えて下さり、心から感謝しております。	今後もお子様たちの心地よい居場所となり、他の様々な場面でも自信をもって活動できるよう継続的に支援していきたいと考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	1	2	子供に寄り添って指導してくださっています。先生方が明るく優しく、毎回子供も楽しんでいます。授業の後のフィードバックも丁寧に子供の様子や課題について説明してくださっています。	・ありがたいお言葉をいただき、大変うれしく感じております。今後とも満足いただける支援を行えるよう、努めてまいります。 ・さらに研修など充実させ、職員のスキルアップや知識の向上を図っていきたいと考えています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスらしさ			公表日	2025年 1月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2	・道具は常に整理整頓し、十分なスペースをとるように配慮している。 ・人数を調整して、広々と利用できるよう工夫している。	高学年など体が大きいクラスは人数の調整や運動メニューなど、怪我や事故につながらないように配慮して支援を行う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	シフトの段階で適切に考えられている。	急な体調不良や、感染症、夏季休暇等の際は、支援の質が落ちないようにしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	1	トイレや活動スペースの明確化がされている。	出入口の施錠など子どもの手の届かない場所に設置し安全面の確保に努めている。また開錠操作は指導員が行うことを掲示物で協力を仰いでいる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	2	・道具は整理整頓し、全ての道具をアルコール消毒している。 ・洗面台の下、トイレには子ども用の足台をセットしている。	日々の清掃、整理整頓を意識し、心地よく過ごせる環境作りを職員ひとりひとりが心がけていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	2	個室があるため、クールダウンが必要な場合に使用している。	引き続き環境整備に努めていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	1	・職員間で意見を出しやすい環境づくりをしている。 ・業務担当を可視化することで個人の仕事内容の整理を行えるように工夫をしている。	・業務担当を定期的に見直し、職員個人の負担になっていないかなど見直しを行う。 ・他業務の内容を把握出来るような機会を設けていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	保護者からのご意見、ご要望を反映し職員間で話し合い、改善に努めている。	今後も保護者からの意向等を把握し、業務改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	・毎日のミーティングの時間に職員間で意見交換を積極的に行っている。 ・職員間で意見を出しやすい環境づくりをしている。	ミーティングの時間配分を事前に行い話し合いを充実させ日々の業務を効率的に行えるよう努めている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	8	第三者評価現在行っていない。	必要に応じて実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	外部研修や法人内でも様々な研修を受講する機会がある。	個人で受講した研修を他職員に伝達研修を行うなど職員が日々スキルアップしていける仕組みを整えていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	1	ガイドラインの発達の5領域やお子さまの発達段階に合わせ、職員間で話し合い、適切に作成されている。	事業所ホームページで公開もしている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	1	お子様や保護者さまがどのようなことに困っているのか、支援すべきことは何かなど、職員間で話し合い、支援計画を作成している。	今後も保護者のニーズやお子さまの課題を適切に分析し、満足感を得られる支援を継続して行っていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	1	実際に支援に関わっている職員と児童発達支援管理責任者で入念な話し合いのもと、それぞれの子どもの発達段階に合わせた支援計画を作成している。	主観的にならないよう、職員全員で5領域を念頭に作成していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1	職員間で支援計画を確認、共有し計画に沿って毎日支援を行っている。	今後も来所児童全員の前回活動時の様子や配慮事項、プログラムの共有など入念に打ち合わせを必ず行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	2	社内独自共通アセスメントツールを使用し、確認している。	現在インフォーマル且つフォーマルなツールを使用しているが今後は電子化を検討し業務改善を目指す。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	1	ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に則した支援内容の本人支援、家族支援などを踏まえそれぞれの子どもに適切な支援の優先順位をつけて具体的に支援計画を設定している。	本人支援、家族支援が中心となっており、今後は地域支援について実施方法など検討を行っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	2	・個別支援計画目標に基づきリードの職員が中心に作成している。作成後全職員に周知している。 ・全員の意見を反映し日々工夫している。	プログラムの目的や子どもの様子に合わせ、臨機応変に対応できるよう、更にチームで連携を図っていく。

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	1	様々なプログラムを提供し、楽しみながら次の学びへ繋がるよう日々工夫している。	お子さまの発達や課題に合わせ、苦手意識のあるものも自信へと繋がっていくよう今後も様々な知識やスキルを職員が身に付けていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	1	基本は小集団活動を目的としお子さまの様子に合わせて集団、個別と分けてプログラムを提供している。	今後も必要に応じて適宜集団活動も提案し、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1	支援開始前に必ずミーティングを行い、前回の活動の様子や配慮事項、プログラムの共有、確認など行っている。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	支援終了後にも必ず一人ひとりのお子さまの様子を振り返り、次回の支援に繋がるよう記録を残している。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	1	保護者にサインを頂く書面に記録を取ると共に、データとしても残している。	社内独自引き等を活用し、適宜記録記入方法等を確認できるようにしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	1	一人ひとりのお子さまの記録に目を通し、活動時の様子をモニタリングし定期的に適切な支援計画の見直しを行っている。	より広く職員が参画できるよう、事前に計画を立ててモニタリングを実施していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	3	運動を用いて、自立支援及び余暇活動については継続的な支援を行っている。	地域交流及び創作活動は年1回程度の実施を予定している。要望があれば都度検討をしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	3	子ども本人の意思を尊重し、自主性を育て、自立に向けた支援に努めている。	引き続き、より良い支援ができるように努めていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1	児童発達支援管理責任者と場合によっては指導員も参画している。	内容について事業所内で共有を行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1	・ご家族を通じて連携している。 ・訪問支援を利用している方については報告書などを通して共有を行っている。	今後も必要に応じて適宜連携を取っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	1	電話や送迎時のやり取り、学校主催の支援会議等で情報共有を行っている。	内容について事業所内で共有を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	3	ご家族を通じて連携している。	ケースに応じて連携を図っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	4	全ての事業所ではないが、求められた場合は、情報提供をするようにしている。	今後該当児童がいる際に、積極的な連携を図る。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	4	求められた場合は、情報提供をするようにしている。	助言やアドバイスを頂ける機会を積極的に設け、日々の支援に活かしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	6	今の所機会を設けられていない。	今後必要に応じて、実施を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	5	事業所連絡会などに参加している。	内容について事業所内で共有を行っていく。
保	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	日々のフィードバック時に、最近の家庭で様子なども伺いながら今後の支援方針につて、共通の理解をもったうえで支援にあたっている。	必要に応じてフィードバック時以外にも随時面談の時間を設けていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	4	・来所時・フィードバック時にお話を伺ったり、お悩みがあれば対応策などをお伝えしている。また、疑問点や質問があればその場で回答できるよう努めている。 ・必要があれば個別面談を行っている。	ペアレントトレーニングや研修会等の機会は設けていないので、今後必要に応じて開催を検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1	・契約時含め契約書や重要事項説明書の内容について担当が責任をもって丁寧に説明し、運営規程の書類等については、保護者が自由に閲覧できるよう、事業所内に掲示している。 ・保護者に疑問点や質問があればその場で回答、解消できるよう努めている。	今後も丁寧な説明に努める。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1	保護者の意向やニーズはもちろん、お子さまの気持ちや意思も尊重し、一人ひとりにとって最適な支援計画を作成している。	今後も要望や意向確認をしながら作成していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	1	放課後等デイサービスの提供すべき支援のねらいに基づき、6か月以内に1回見直し、作成し保護者から同意を得ている。	今後も丁寧な説明に努める。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	1	・毎回のフィードバック時にお悩みや相談をお聞きし、適切な助言を行っている。 ・必要に応じて面談を行っている。	特に専門的なアドバイスが欲しい保護者さまに関しては必要に応じて各専門職の職員との面談やアドバイスを行っている。

護 者 へ の 説 明 等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12	1	保護者会を定期的に開催し、保護者同士で交流する機会を設けている。	引き続き、定期的に開催する予定。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	1	情が寄せられた場合については職員全員が迅速に対応し、職員間や法人で共有、話し合いのもと、適切に対応できている。	相談や申し入れがあった場合迅かつ適切な対応に努める。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	1	連絡ツールを活用し、行事予定や出欠の連絡などを行っている。	今後も情報発信充実と周知に努めていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	1	・個人情報記載された書類は鍵付きの棚に保管している。 ・個人情報取り扱いについても保護者の方に説明を行っている。	PC等からの個人情報へのアクセスはセキュリティー強化を検討していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	1	・保護者の障がい理解度に合わせて説明を行っている。 ・文面だけや口頭だけにならないよう視覚物を用いて意思疎通・情報伝達等を実施している。	引き続き、より良い支援ができるように努めていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	1	年に1回ではあるがOB・OGなどを集めたイベントを実施している。	行事回数や内容について要望があればその都度検討をしていく。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	3	事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル、感染症マニュアルは揃っており、保護者に周知できるよう事業所内に掲示している。	より実務に近い環境下での訓練を計画し実施していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	1	定期的に避難訓練を実施し、実際に災害が発生した際も迅速に対応できるよう取り組んでいる。また、実施時は実施記録を作成している。	適宜確認を行い、必要に応じて見直しを行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	1	保護者記載のシートにより把握している。また必要に応じて聞き取りを行っている。	状況に変更があった場合には速やかに共有をしていただくように声かけを行っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	2	・食べ物の提供はないがアレルギーについても保護者記載のシートにて把握している。 ・毎回確認できるよう個人ファイルにも記載している。	引き続き、安全に留意し支援を行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1	日々の支援の中で安全管理、危機管理には職員間で連携を取り、必要な措置を講じている。	適宜確認を行い、必要に応じて見直しを行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0	お子さまの安全確保のため、どのような際にやむを得ず身体拘束を行うかについてなど保護者に十分説明し了解を得ている。	引き続き、内容周知を図っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	・口頭や書類、連絡ツールにて共有を図っている。 ・事例発生時にはその都度記録を残し、全職員で共有するとともに、再発防止の対策を話し合い実践している。	引き続き、安全に留意し支援を行っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	・外部の虐待防止研修に参加した職員が、事業所内で共有のため研修を行っている。 ・虐待防止に関わるセルフチェックを全職員に対して定期的実施している。	引き続き関係機関と連携を図りつつ、定期的に研修を実施していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	0	自傷 他害のお子さまがいた場合の対応策やどのような際に身体拘束を行うかは契約時に保護者さまに説明し、対象者がいる場合は個別支援計画に記載する。	今後必要な場合に十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束適正化に努める。